

【パート5】

@一華

『やめなさい！ 人を呼ぶわよっ！』

@一華

『どうしてこんなことを……相談があるというから時間をとったのに……！』

@一華

『唯那？ 娘がどうしたというの……？』

@一華

『これは……！？ あなた、娘に……学園の生徒に手を出すなんて……！』

@一華

『くっ……勤務態度も真面目で信頼できる教員だと思っていたのに』

@一華

『どうせお金なんでしょう？ いいわ、いくらでも払ってあげる』

@一華

『でも必ず報いを受けさせる、覚悟しておきなさい！』

@一華

『んっ！？ ……んんんんんっ！？』

@一華

『んあっ……ど、どうしていきなりキス……まさか私も……！？』

@一華

『んくっ、んくっ……んっ、この私が……紅皇学園理事長の皇一華がっ……』

@一華

『んんあっ、んっ、ちゅうっ、ちゅぶっ、ちゅっ、んうう、んううう！』

@一華

『んちゅ、ちゅるっ、やめっ……舌、入れないでっ……ちゅるっ、ちゅるるるっ、んちゅうっ』

@一華

『夫以外の……男性に身体を許したことなんか……ないのに……はあ、はあ、はあ……』

@一華

『もう、やめなさいっ……手錠を……外しなさい……き、聞いているの！？』

@一華

『やめなさい……やめて……やめてっ……お願い……お願いしますっ……』

@一華

『ああっ……いやあっ……服を脱がさないで……ブラジャー返して……胸を見ないで……！』

@一華

『唯那よりおっぱい大きいですって……？ くっ、絶対に、絶対に許さない……！』

@一華

『あっ！？ そんな乱暴におっぱい揉まないで……！ んんっ……ああっ……だめ……あっ……』

@一華

『んんっ……んう……ああっ……あっ……あうん……ちくび、しっこくっ……』

@一華

『ふうんっ、んんっ、んっ、んっ……んうっ……ちくび、っ、摘ままないでっ……』

@一華

『ち、違う、感じてなんかいませんっ……！ 身体が疼いてる……？ そんなわけないでしょう！』

@一華

『あっ……ちくび舐めないでっ……はあ、はあっ、はあっ……ああっ……だめ、だめっ……ふああっ……』

@一華

『んっ！？……んちゅっ、んんっ……んっ……！ またキスう……んちゅっ……ちゅぶっ……』

@一華

『んんうう……、ちゅ、ちゅぱっ、ちゅぶっ……れろお……いやっ……キスをしながら乳首を愛撫だなんて夫にも……』

@一華

『夫にされたことないのか、ですって……？ ……あ、あなたには関係ないでしょう、何を笑っているのですか……！』

@一華

『ち、違います！ セックスレスなんかじゃ……！ あの人は忙しいから……最後に抱いてくれたのは、もうずっと前……』

@一華

『寂しくなんかありません、お互い愛し合っていれば肉体関係など続かなくても……レイプ魔のあなたとは違うんです！』

@一華

『あっ！？ いやっ、そっちは触らないでっ……ぬ、濡れてなんかいませんっ……』

@一華

『やめて、やめてえ……ああああ……脚を広げないで……見ないで……股間に染みなんか、できていませんっ……』

@一華

『か、感じてるわけないでしょう、ただの肉体的反応です、レイプ魔にキスや愛撫されて嬉しいわけが……！』

@一華

『ああっ！？ やめて……やめてください……乱暴にしないでくださいっ……いやっ……下着をずらさないでえ……』

@一華

『うっ……うう……やめて、そんなところ見ないで……そんなにじっくり……夫にも見られたことないのに……』

@一華

『あっ、だめっ、だめっ……！ そんなところ、舐めないでっ、あっ、ああああ……っ！』

@一華

『そんなっ……下品な音を立てて啜らないでっ……私の……そんなところ、吸わないでっ……』

@一華

『ちゃ、ちゃんと言え、ですって……？ いやですっ……そんなはしたない言葉など口にできません……ひい！？』

@一華

『そ、そんな強く、吸わないでえ……んあああ、んひい、んひひひひひ……！』

@一華

『わ、わかりました！ ……クリ、クリトリスですウ……私のクリトリスを吸わないでっ、口の中で舐め回さないでえ……！』

@一華

『いやっ、いやあつ、ふあつ、あつ、んあつ……だめ、だめええ……夫にもされたことないのに……！』

@一華

『はあ、はあつ、あああつ……あああつ……こんなの……自分の指とかじゃぜんぜんっ……んはああああ……』

@一華

『腰が……勝手に跳ねちゃう……いやっ、いやあ……笑わないでえ……勝手に動いてるだけなの、私のせいじゃない……』

@一華

『あつ、あああつ、だめっ……じゅぷじゅぷといやらしい音を立ててっ……ああつ、あああつ、すすらないでえ……！』

@一華

『うんんっ……太い舌が……お、おまんこに……入り込んで……中で暴れてるっ……』

@一華

『あああつ、んああつ……ひあああああああつ……だめっ、もうだめっ、イツちやう……』

@一華

『やめて、やめてええ……もうおまんこ舐めちゃだめえ……あああああああああつ』

@一華

『イクっ……イクうううううっ……っ！！ ひいあつ、あああああああああああつ！！』

@一華

『はあつ、はあつ、は一つ、はあ一つ、私、夫以外の男性で……イっちゃったあ……はあ、はあつ、はあつ、はああ……』

@一華

『んう……だめっ、イッたばかりのおまんこ……触らないでっ……敏感になってるから……』

@一華

『……私は、今日まで、皇家の女として、ずっと……清く正しく美しくありたいと……生きてきました……』

@一華

『皇学園の理事長が……レイプでイってしまったなんて……ふしだらなこと……誰にも知られてはいけない……！』

@一華

『お願いします……このことは誰にも……あなたの言うことは何でも聞きますから……お願いっ……！』

@一華

『あ……あああ……やっぱり私を……はい、私の身体……好きにしてもらってかまいません……こんな陵辱耐えてみせる……！』

@一華

『……は、はい、凶悪なほど勃起した大きなペニス……いえ、おちんちんです……夫より……大きいですっ……』

@一華

『はい、どうぞっ……ここにっ……私のおまんこに……夫よりたくましいおちんちん入れて……くださいっ……』

@一華

『あつ、いや……っ、うっ、うん……っ、おっきい……苦しいっ……ひああ……ひあああああああつ！！』

@一華

『お、奥まで……一気にっ、入って……！ ひううんっ……ひあつ、ひああああんっ』

@一華

『んっ、んっ、んっ、んうっ……んあっ、あんっ、あっ、あっ……ふ、深い……子宮えぐられるウ……！』

@一華

『ふあんっ、あっ、あっ、あっ……ひいあ！？ クリ、クリトリスは今はっ、だめえっ、いじらないでえ……』

@一華

『んひい……ひいああああああああああっ……だめっ、だめえっ、クリいじっちゃだめえ！』

@一華

『ピストンされながらっ……クリを、責められて……おまんこがじんじん、熱いですっ……んあああんっ』

@一華

『夫はっ……いつもおちんちん入れたら……腰を振るだけでっ……淡白で……私が気持ちいいか考えてくれなくて……』

@一華

『夫にこんなふうにしてほしかったんです……だから、決してあなたなんかじゃ……ひあっ、ひあああ！』

@一華

『あっ、あっ、いやっ、いやあっ、クリこすっちゃだめッ、だめなお……はあっ、はあっ……ひあああっ……！』

@一華

『私、クリいじりすぎると……クリが大きくなって弱くなってしまふんです……すごくイキやすくなって……』

@一華

『だからもう……ひあっ！？ ひいひいあっ……はげしっ……激しく動かないでっ……クリを強くこすらないでえ……』

@一華

『だめっ、だめえっ……やだっ、やだあ……あああっ……気持ち、いい……レイプされてるのに気持ちいいわけが……』

@一華

『ひいあああああっ！ ひあっ！ イクっ！ イクウっ……んひああっ、あはああああああああああっ……』

@一華

『はあっ、はあっ、はあっ……んあっ……ふあっ……私また……イッちやいました……』

@一華

『ち、違います、気持ち、いいなんて……言ってません……そんなふしだらなこと、言ってません……！』

@一華

『私は、レイプされて快感を感じるなんて、ふしだらで淫乱な女じゃありません……』

@一華

『もう……レイプ魔のあなたのおちんちんなんかで、イったりしませんから、私は負けません……！』

@一華

『ふああ……！ ひいああ！ あっ、あっ、あっ……！ ふああっ……ああっ！ はげしっ……だめっ……ああっ！』

@一華

『ふ、深い……奥う……っ、そんなにじっくり……突き上げないで、擦り上げないでっ……！』

@一華

『ああああっ、ああああっ……だめっ、だめええ……私の中、凶悪おちんぼの形にされてしまうっ……！』

@一華

『ひいあっ、ひああっ……また、激しくっ……！ んあっ、んああんっ、んあっ、んはあっ、んひいひいあっ！』

@一華

『あっ！ あんっ！ 何度も……何度も……！ 深いところ、奥を突き上げられてっ……ひああああんっ！』

@一華

『こんなの……こんな激しいセックス、もう無理……イクの我慢できないっ……』

@一華

『あっ……？ おちんちんが中で大きく……まさか……！ だめっ、それだけはだめえ！』

@一華

『抜いてっ、抜いてお願いっ！ 外に、外に出してえ！ 妊娠しちゃう、夫を裏切りたくないっ……』

@一華

『いやっ、いやっ、いやあ……おちんちんが熱い……おまんこに精液出されちゃう、いやああ……』

@一華

『んひい、んはあ、ひああああっ、ダメっ……私もイっちゃう、おまんこイっちゃうう……』

@一華

『ひああああっ！ イクっ……！ もうイクっ……だめえ、おちんちん抜いてっ……精液出さないでえ！！』

@一華

『いやっ、いやああああああああああああああああっ！！』

@一華

『んう……、んひい、んふう、んうううううううっ……中で……精液が出てるウ……』

@一華

『夫以外の精液が……私の中に……いやあ、いやあ……やだあ……こんなのやだあ……』

@一華

『ごめんなさい、ごめんなさい……許して……こんなの私じゃない、違うの……全部嘘なの……』

@一華

『あああっ……もう許してくれるのね……私の身体、好きにしたのですから、もういいですよね……？』

@一華

『今日のことは、お互い全部忘れて……え、唯那も同じことを言った……？ ま、まさかまだ……！？』

@一華

『……あっ！？ ど、どうして……？ まだ、するの？ 射精したのに……満足してないの！？ 夫は一回で終わるのに……！』

@一華

『ああっ！？ お、お尻……お尻はやめてっ……！ 私、お尻は本当にだめなのっ……！』

@一華

『お尻をそんなに優しく撫でまわさないでっ……丸くて綺麗なお尻とか褒められても……嬉しくないっ……』

@一華

『んっ、んっ、んう……ふっ、はあ、はあ、はあ……お尻、ばっかり、やめて……あっ、ふああっ！？』

@一華

『そこは……ちがっ……指……アナルにい……っ！ んあああんっ……ダメっ……息が、できないい……』

@一華

『あっ、あっ、あんっ……ああっ……え……いつもみたいにアナル気持ちいいだろ、ですって……？』

@一華

『まさか、知ってるの……？ 私が、理事長室で……アナルオナニーしてたこと……！』

@一華

『夫と会えなくて、セックスもできない寂しさもあって……毎日のように自分で慰めて……』

@一華

『見ていた……！？ まさか盗撮……！？ くっ……全部、見てたのね……この卑怯者のクズ教師……！』

@一華

『録画データもあるですって……！？ 絶対、許さない、絶対に許さないからあ……ひっ……ひああああ……！？』

@一華

『お、お尻撫でまわしながらアナルに指入れないでえ……ち、違う、いつも少ししか弄ってなっ、あああつ！』

@一華

『ごめんなさい、嘘です……！ オモチャをアナルに入れて……アナル開発していました……いやっ、いやあああつ……！』

@一華

『だめっ、アナルを指で……グリグリしないでえ……内側ほじくらないでっ……そこ弱い……からあああ、んひいああああ！』

@一華

『はじめて……指で弄られて……こんなのいつもと違う……！ こんなにアナル刺激されたらあああ……』

@一華

『あああつ、いやああつ……んああつ、あつ、そこっ、いいっ……おっ、おほお……♪』

@一華

『ち、違います、今の声は違います……勝手に声が……おおおっ……おんっ、おっ♪ おほっ、んほおおっ……♪』

@一華

『おおおっ、お尻熱いいいいい……お尻が溶けちゃう、溶けちゃううう……んほお、んほおおっ……♪』

@一華

『お尻が、気持ちよくなってえ……おまんこから愛液が、お漏らしみたい……だらだらと、溢れてきてますウ……』

@一華

『んううう、んおおおう……おふう、ふうっ、ふっ、ふーっ……いやあ、またおちんちん、いやああ……♪』

@一華

『おまんこにおちんちんが押しつけられてっ……でも力が抜けて、抗えないっ……！』

@一華

『違います、これは不可抗力だから……！ これは……仕方がないことなのっ……逆らえないのおおお……』

@一華

『んひいいいいい、んあああああああああああああああああ……♪』

@一華

『これダメえ♪ アナルいじりながら、おまんこにおちんちんぶっこむのだめえ、気持ちよすぎて……脳みそ溶けちゃう……！』

@一華

『おふっ、おふう、おふっ、おふう……ふあ、ふあああああああああ……す、すごおいしい♪』

@一華

『ああ、あんっ……あつ、あああつ……おまんこもアナルも、肉が蕩けそう……快感がとまらない……』

@一華

『んはあ、んはあ、んはあ……んひい、んひいいい……！ えっ……？ うう……は、はい、わかりましたあ……』

@一華

『自分だけ気持ちよくなってごめんなさい……おまんこ……もっと、気持ちよくしますっ……うっ、うう……ううんっ……』

@一華

『ひゃあんっ！ んあつ、んあああ～……つつ♪ お尻を叩かれて……軽くイッちゃいましたあ……』

@一華

『ごめんなさいい、もっとアナルぐぼぐぼしてください、おまんこでおちんぼギューギュー締め付けて気持ちよくしますう』

@一華

『アナルかき回されるとっ……腰がびりびり痺れて……お腹が熱くなるんですっ……気持ちよすぎて頭おかしくなる……』

@一華

『さっきからずっと軽くイってるんです……イキすぎて苦しいです……だからっ……お願い、優しくしてください……』

@一華

『んひいいい！？ んひい、んひい……んほお、んほお、んほおおおお♪』

@一華

『優しくって言ったのにい……！ さっきより、激しいピストン……！ 絶え間なく深いところに打ち込んでっ……』

@一華

『こんな優しくないピストン……！ 逆らえるわけない、快感に抗えるわけない……！』

@一華

『んんおっ、おっ、おほおっ！ んほお、んほお、おあつ、あつ、あえええっ……！』

@一華

『らめえ、らめえなのお……やああ、あああつ、おまんこ熱い、お尻熱いッ、全部熱いからあつ、ひああああつ！』

@一華

『おまんこアナル、一緒に擦られてっ……らめっ……らめえ……気持ちよすぎる、もっていかれちゃううう……！』

@一華

『あはあつ、あつ、ふあああ、ひうんっ！ くるっ、きそうっ……！ やあつ、あつ、あつ、あつ、あああああっ！』

@一華

『あっ！ もう！ もうっ！ きたっ……きたあ……！ いやっ、やだっ！ イクっ！ イッちゃうっ！ ああっ！』

@一華

『あなたも、出すの……また私のおまんこに精液出すのね……一緒に、一緒にイケばいいのね……ひっ、ひあああ！』

@一華

『そんなイキ方知らないわかんないっ、こわいっ、こわいいい、たすけてっ、お願い、たすけてえええ！』

@一華

『イキたくない、たすけてええええ！！ ひいあああああああつ、イクっ！ イクううううううううううううううっ！』

@一華

『あああつ……あああああああああああああつ……ナカに…精液出てるうっ……どぶどぶたくさん……』

@一華

『はあつ、ああつ、はあつ……腰も足も溶けてしまったようで……はあつ、はあ、うううう……』

@一華

『おまんことお尻の快感だけが……脳天までじんじん伝わってくる……イクのが、終わらないっ……んあああんっ……』

@一華

『アナルが、指を咥えこんで……離さないですって……違います、あなたが指を抜かないからっ……』

@一華

『おちんちんも抜いてくださいっ……もう終わって……ちょ、……ちょっと！？ 待ってっ、そのまま動かないでえっ！』

@一華

『待って、待ってくださいっ……お願い、少し休ませて……ひい、ひあああんっ』

@一華

『どうしてこんなに……何度も出来るの……夫とぜんぜん違う……ひああつ、ひあつ……』

@一華

『ああ、あつ、あつ……今はっ、激しく動いちゃ……だめっ、だめえええ……イッてるの……まだっ……イッてるの……！』

@一華

『ひいああああああああつ！ ああああああああつ、んほあああああつ！』

@一華

『だめっ、だめっ、だめえええ……！ 腰が、ガクガクでとまらないっ……イクのとまんないっ……！』

@一華

『おちんちん、おまんこに乱暴に打ち付けちゃだめっ……壊れちゃうから、私のおまんこ壊れちゃうからあ……』

@一華

『ひいあつ！ ひあつ！ んあつ、んあああつ！ あつ、あつ、あつ……あああああああつ！』

@一華

『だめえっ、やあつ、またっ……イクっ……イっちゃうう……おまんこ壊れちゃうううううっ……』

@一華

『イクうっ、またイク！ おまんこ壊れちゃううううううっ、イっちゃうのおおお

@一華

『やあつ、あつ、あつ、あつ、あああ……ひいあああああああああああ ♪』

@一華

『んはあ、はあ……はあ、はあ……ふう、ふう……はあ、はあ……こんなにイったの……初めて……』

@一華

『え、隠しカメラ……？ 撮影している……？ くっ……そう、唯那にも同じ手で……！』

@一華

『……くっ、わかっています……！ 私が、断れるわけありません……あなたの言う通りにします……』

@一華

『だから、カメラはどこにも……あなたと私だけの秘密にしてください、夫には絶対に……お願いします』



@一華

『最後に騎乗位でおちんちんイカせられたら……解放してくれるんですか？ 今日のところは、ですね……わかって  
います』

@一華

『あなたのおちんちん……私の騎乗位おまんこでセックスさせてください、奥まで遠慮なく突き上げてください……！』

@一華

『ふあっ、んっ……ああんっ……もう何度も出したのに……まだ大きくて固い……』

@一華

『このおちんちんで……私を、何度も何度も犯して……おまんこを精液でいっぱいにして……イカされました……！』

@一華

『おちんちん嬉しい……ですっ……うっ、くっ……口が腐ってしまいそう……！』

@一華

『ひいあっ……！？ ごめんなさい、生意気言いました、許してっ……んああ、はあ、はあ、はあ、まって、まってえ……』

@一華

『奥まで一気に入れるなんて……無理、ですっ……んんっ、ああっ、ひいあああああっ……』

@一華

『ちょっとずつ腰を落として……お願いします……おまんこが壊れちゃいますからっ……』

@一華

『ひいあっ！？ い、いやっ！ ちくびはっ！ ちくびいじらないでっ、力が抜けっ……ひいあああああっ！！』

@一華

『んほおおおおお！！？ 奥までっ……！ 深いところまでっ……おちんちんがああ……！』

@一華

『ひいあああああああああああああつつ……はあっ、はあっ……イキました……イッちゃいました……』

@一華

『おちんちん、奥に……子宮を小突かれただけで……イキましたあっ……ふあああんっ……』

@一華

『はあ、はあ……私だけイッてごめんなさい……騎乗位頑張ります、腰を振らせていただきます……！』

@一華

『んっ、んっ、んっ、んっ……あっ、あっ、あっ……どうですか、気持ちいいですか……腰振りでできますか』

@一華

『んっ、はあ、はあ、はあ、はあ……早く、早くイってください、射精してください、中に出していいですからっ……』

@一華

『んっ、んっ、んっ……おちんちん、大きすぎてっ……お腹苦しいんですっ……また中で大きくなって……！』

@一華

『突き上げられるたびに中でこすれて……気持ちよすぎて、子宮が疼くんですっ……んあああんっ……』

@一華

『はああっ、はっ、はあっ……あっ、はああっ……あっ！？ 待って、待ってください、やめて……あっ、ふあっ！』

@一華

『んあああああつ！ いやああああつ！ 激しく突き上げないでっ……だめっ、だめえっ、苦しいのっ……あああつ！』

@一華

『あああつ、あつ、ふああつ！ やああつ……苦しいのにつ……なんでこんなに……気持ちいいのっ……』

@一華

『ひああああんっ、ちくびいっしょにつ……つままないでっ、きもちよすぎるっ、いやああつ……』

@一華

『ダメっ……これダメっ……！ 乳首いじられながら、深いところに、何度もおちんちん刺さってるのダメっ……』

@一華

『おまんこから……愛液だらだら溢れてとまらないい……！ 私こんなふしだらな女じゃないのにいい……！』

@一華

『あああああつ、いやあつ、いやなのにつ……だめえっ、腰っ、勝手につ……うごくのお……』

@一華

『はあつ、はあつ、はあつ、ああつ、あんっ、あつ、ああんっ……止まらにやいいっ……♪』

@一華

『あつ、あッ、あつ、あつ、はああつ、ああ〜っ、あああつ……こんなに下品なセックスしたことない……♪』

@一華

『ああつ、あんっ、あつ、あああんっ……んああんっ……夫に、夫にこんなの見せられにやいいいい……』

@一華

『ダメえ……見ないでえ……私を、こんなはしたない一華を見ないでえ……ひいあつ、やああつ、乳首やあつ、だめえっ』

@一華

『あつ、あッ、あつ……だめなのっ、乳首をきゅっと絞られながら、深いところを奥までずんずんされるの弱いのお♪』

@一華

『あつ、あつ、あーっ、あーっ♪ だめだめっ、だめえっ、弱いところばかり責められてイクう、負けちゃうう♪』

@一華

『お願い、あなたも出して、精液をおまんこにいっぱい出して、私の負けでいいからあああ』

@一華

『負けてイっちゃう、イクッ……イクイクイクっ……あああああああああああああああつっ』

@一華

『あつ、あつ、あつ……はあ……はああつ……はあ……っ、あああつ……ふああつ……』

@一華

『すごいいっぱい、中に……出てる……精液熱い……ビュービューって……子宮にいっぱい……』

@一華

『だめえ……だめなのお……赤ちゃんができちゃう……妊娠しちゃう……はあ、はあ……はあつ、はあつ……』

@一華

『んう……！ んっ、ちゅ……ちゅっ……ちゅ……れろおっ、れろおっ、えろおっ』

@一華

『こんなセックスの余韻のディープキス……愛し合う夫婦みたいに情熱的で……んう、んっ、ちゅ……ちゅっ、ちゅうう……』

@一華

『夫はセックスのあとは……私に触れてくれなくてっ……寂しかった……んう、んっ、ちゅ、ちゅ、ちゅう……』

@一華

『ふああ……私、まだ女でいていいの……？ 理事長で母親で……自らを厳しく生きていかないとっ……だからっ……』

@一華

『えっ……まだ、おちんちん大きく、なるの……！？ さっきで最後だっ……もう解放してくれるって……』

@一華

『ひっ……また私のお腹の中でっ……おちんちん大きくなってるっ……ひいああっ！』

@一華

『だめっ、もうだめっ、もう動かないで……セックスやめてっ、私を壊さないでっ……いやあっ……もういやあ……』

@一華

『あっ！ あっ！ ああっ、くふっ！ ひいっ、ひっ、いやあっ、ひぐウ、んぐウ、おふあああ！』

@一華

『おおあっ、あんっ、あっ！ あっ！ ひいっ、いいっ、うんっ、やめっ、やめてっ、もうとまってっ……！』

@一華

『あんっ、あっ、うんっ！ んっ！ んーっ！ 意識が、とんじやうっ……はあ、あああっ……』

@一華

『ひあっ、あっ！ あっ！ あっ！ あっ！ いやあっ、やめて……っ、もうっ……！』

@一華

『ひいああああああっ！ ああああっ……！ ああああああああああああああああ——』

@一華

『はあ、はあ、はあ、はあ……はあ、はあ、はあ、はあ……やっと終わったの……？』

@一華

『もう何度、犯されたの……？ もう身体がぐしょぐしょで……シャワー浴びて綺麗にしないと……』

@一華

『まだお仕事残ってるから……窒息しそうなこの淫らな匂いも……換気しないと……』

@一華

『……はい、おちんちん、お掃除ですね、舐めて綺麗にします……んっ、ちゅ、ちゅう』

@一華

『ちゅ、ちゅ、ちゅっ、ちゅ……れろっ、れろお……ちゅっ……ちゅるっ、ちゅるるっ……』

@一華

『れろっ、れろお……これが私を犯したおちんちん……ずっと私の中で暴れまわってた……』

@一華

『ちゅっ……ちゅるっ、ちゅるるっ……あっ……！？ またおちんちんが大きく……』

@一華

『夫と同じ男とは思えない……なんて絶倫なの……ちゅぴ、れろおっ、れろっ……んっ、ちゅ……』

@一華

『はあ、はあ……はあ……少し休憩……させてくださいっ……もう疲れて……』

@一華

『ひいあっ……！？ おまんこにバイブ押し当て……お仕置き……！？ いやあっ、どうして……』

@一華

『ひあああああっ、やああああっ……！！ んっ、はあ、はあっ、ちゅ……お掃除もちゃんと、やりましゅ……』

@一華

『だからお仕置きやめて……やめてくださ……んっ、んちゅ、んちゅっ……んっ、んんんんんっ……！

@一華

『ごめんなさい、お掃除とめてごめんなさいっ……んはあ、はあっ、だって、だってえ……』

@一華

『バイブ感じ過ぎて……おまんことクリに振動が響きすぎて……だめっ、あああああっ……』

@一華

『ちゅっ、ちゅっ、ちゅ、ちゅぶっ、ちゅるっ……んっ、んーっ、んぶううううっ……んっ、んっ……！！』

@一華

『んふうううっ、んふっ、んふーっっ ♪ んんんんんんーっ ♪』

@一華

『おふっ、ふっ、ふう……っ、ふうっ……ふっ、ふう……んふ、んふう……』

@一華

『ぶあっ……もう何度目の、絶頂なの……おちんちん咥えながら、おまんこバイブでイっちゃった……』

@一華

『んっ！？ んんっ！ んっ！ ぶあっ……おちんちんを口に突っ込んでっ……ん、んんーっ！』

@一華

『んふっ、んっ、んぶっ！ んちゅ、んちゅ、ちゅるるっ、んくっ、ふぶうっ、んぶっ、ちゅっ、ちゅっ！ ちゅるるるっ』

@一華

『んっ、んっ、んくっ、んぶっ、ちゅっ、ちゅっ！ ちゅるるるっ、んんーっ、んーっ！ んふっ、ちゅぶううっ』

@一華

『んぶうううううううううううううううううううう！！』

@一華

『んうううううううううう、んぶううううううう、んぐう、ごくっ、ごくんっ』

@一華

『っふっ！？ ふっ、んーっ！ んんっ、ふううううっ！！ ふぐううっ！！ ふぐうううううううっ！！』

@一華

『んんううっ……んんんっ、んうううううううううう……』

@一華

『んっ……！ んっ……、んっ……、んふうう……んくっ、んっ、んっ……んふ……んんんっ……ちゅ……』

@一華

『ちゅるるっ、ちゅろっ……ちゅ、んぶっ……ふう、ふう……ふっ……はあ、はあ、はあ……』

@一華

『終わり……？ やっと終わりなのね……はあ、はあ……はあ……はあ……』

@一華

『え……？ な……何言ってるの？ 認められないわ、そんなこと……』

@一華

『あなたの妻になれ、だなんて……私は、夫を愛しているの……そんなの絶対認められない』

@一華

『認めさせるまで毎日ご奉仕させる……？ そ、そんな……こんな激しいセックスを毎日するの……！？』

@一華

『……は、はい、旦那様と呼びます、皇一華は……旦那様に毎日セックスのご奉仕をいたします……』

@一華

『ん！？ んんっ……ちゅ、ちゅぶっ……れろっ、れろお……誓いのキス……これが……？』

@一華

『こんなキスなんかで……！ 身体は許しても、心までは屈しません……！』

@一華

『こんなことは絶対許されない……私は誇りある皇家の女です、絶対にあなたを許しません』

@一華

『清く正しく美しくありたい……それが皇家の女として生きていくべき覚悟なのです……』

@一華

『私は……絶対に、負けない……！』

## 【パート6】

@一華

『理事長室でご奉仕フェラしろですって……！？ なんて屈辱的な……恥を知りなさい……！』

@一華

『調子に乗らないでっ……！ レイプされたからってあなたのものになったわけではありません……！』

@一華

『もうここには来ないでと言ったはずですが、私はあなたを絶対に、絶対に許しません……！』

@一華

『や、やめて、私がここでオナニーしていることは言わないでっ……たまにっ……本当にたまにだけなのっ……』

@一華

『ううっ……私の恥ずかしい姿、全部盗撮されて、見られていたのね……卑怯者……ひきょうものお……！』

@一華

『わ、わかりました、せめて机の下に隠れさせて……誰かが来たら困るから……私を待っているって言ってくれればいいから……』

@一華

『愛してもいない男の前に跪かされるなんて……しかも私の大事な仕事場で……悔しい……絶対に許さない……！』

@一華

『……すぐに終わらせてください、今日はお仕事がたくさん詰まって、忙しいんです……』

@一華

『あっ、ああっ……！？ ど、どうしてもこんなに勃起しているの……？！ やっぱり夫より……すごい……』

@一華

『はっ、はっ、はぁ……びくん、びくんって脈打って……パンパンに膨れ上がってるっ……こんなに大きくなるの……』

@一華

『おちんちんが私のお口に入ると想像しただけでこうなった……？ 私……？ 私のせいでこんなに……？』

@一華

『……はい、勃起ちんぽ舐めます……んっ、んっ、ちゅ……っ、んっ、ちゅ……れろお、れろおれろお……』

@一華

『ちゅばっ、ちゅばっ、ちゅばっ……レロッ、れろれろっ、れちゅっ、ちゅるっちゅるるっ……』

@一華

『んふぁ……大きすぎてっ……喉の奥におちんちんが当たりますっ……ちゅ、ちゅばっ、ちゅばっ……』

@一華

『ガチガチに硬くて熱いっ……ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅばっ、れろっ、れろっ、れろっれろっ……』

@一華

『ふえ……先っぽを念入りに……亀頭をレロレロ舐めまわして、ちゅうちゅう吸うんですね、わかりましたぁ……』

@一華

『んっ、ちゅ……れろお、れろおれろお……ぺろ、ぺろぺろっ、れろっ、れろっ、れろっ……』

@一華

『ぢゅっ、ぢゅっぢゅっ、ぢゅるっ、ぢゅるぢゅるっ……じゅるっ、じゅるっ、じゅるるるる……』

@一華

『じゅばっ、じゅばっ、じゅばっ……ぢゅっ、ぢゅっぢゅっ、ぢゅるっ、ぢゅるぢゅるっ……』

@一華

『んふう……んんっ……お口の中がヌルヌルでっ……んぐっ、んふっ……じゅぽっ、じゅぽっ、じゅるるっ……』

@一華

『んんんっ……どんどん硬くなって……膨らんで……んふぁ……んんっ、んっ、んっ、んんんんっ……』

@一華

『じゅばっ、じゅばっ、じゅばっ、じゅばっ、……んんんんっ！？ んんんんんんんんんんんっ！』

@一華

『んう！ んう！ んんうううううううううう！』

@一華

『んふっ……んっ、んうっ……こくっ、こく、ごくっ、ごくっ……んぐう……』

@一華

『んっ……ふぁっ……けほっけほっ……はぁ、はぁ、はぁ……最低……精液飲ませるなんて……』

@一華

『口の中がねばねばして生臭くてひどい匂い……あとで念入りに洗わなきゃ……汚い……！』

@一華

『もういいでしょう……？ 私は仕事があるから、早く出て行ってください……』

@一華

『……ど、どうしてまだそんなに勃起しているの……まだ、まだするの……？！』

@一華

『私のフェラが最高だったので興奮がとまらない……？ はしたないこと堂々と言わないで……！』

@一華

『理事長室で……裸になれというのですか……！？ 神聖な仕事場である理事長室で……！』

@一華

『また写真で脅して……！ こんな方法でしか人に言うことを聞かせられないのっ……！』

@一華

『人間として最低よ、最低のクズよっ……卑怯者っ……ひきょうものお……！』

@一華

『全部、脱ぎました……やめて、おっぱいが大きいとか言わないで……身体をじっくり見ないで……恥ずかしい……です……』

@一華

『あ、当たり前ですっ……ちゃんと処理してます……いつでも夫が帰ってきてもいいようにしているんです……』

@一華

『……っ！？ い、いやですっ……あなたの前でオナニーなんかできませんっ……そんな恥ずかしいこと……できません……』

@一華

『……わかっています、私に逆らう権利はありません……命令に……旦那様の命令に、従います……』

@一華

『立ったままで失礼します……んっ、んんっ、んっ、あっ、あっ、んあっ、ちくびっ……んんんっ……』

@一華

『ちくびの……乳輪をくるくるしてっ……乳頭の下を持ち上げるようになぞって……ふあんっ、んっ、んっ、んうっ……』

@一華

『先っぽを摘まんだり……少しねじったりすると……ぞわぞわぞくぞくってして……ひあっ、んっ、んっ、ふあんっ……』

@一華

『お腹のあたりがきゅんとするんですっ……ひあっ、ひあっ、ふああ……ふあああああんっ……』

@一華

『ちくびっ……ちくびきもちいい……あああっ、んああっ……ひあああああああっ……もつと、もつとお……』

@一華

『んひい……ひいあああああああああっ……ちくびいじるのとまらないっ……とまらないのお……』

@一華

『あっ、あっ……だめっ……いやっ、足を開かないでっ……今、おまんこ見られたら……バレちゃうっ……！』

@一華

『うう……はい、おまんこから愛液があふれてきてます、太ももを辿って……床まで垂れそうになってます……』

@一華

『ねっとり濃い愛液が糸を垂らして……乳首で感じているいやらしい私のおまんこを濡らしてます……ふあああんっ……』

@一華

『ふあっ……おまんこ愛撫していただけるのですか、ありがとうございますう……ひあっ、あっ、あっ、あんっ……』

@一華

『ひああつ、ひいあつ、あつ、あつ、あつ、ふああああんっ……おまんこぐちゅぐちゅされてっ……気持ちいいっ……』

@一華

『んっ……旦那様もおちんちんからお汁があふれてきています……手でシコシコして差し上げます……』

@一華

『ふああ……！ ひいああ！ あつ、あつ、あつ……！ おちんちんと、おまんこがっ……連動しているみたいっ、ふああつ……ああっ！』

@一華

『ああっ……お互い立ちながら、手コキと手マンし合うだなんて……なんていやらしい……でもこれすごく気持ちいいのお……』

@一華

『あああつ……おちんちんが膨れ上がってるっ……出るのね、精液出るのねっ……』

@一華

『んひい、んはあ、ひああああつ……！ 私もイっちゃう、おまんこイっちゃいますっ……』

@一華

『んう……、んひい、んふう、んうううううううっ……見て、私の顔を見て……私の目を見ながらイってえ……』

@一華

『イって、一緒にイってえ……私もイクからっ……精液をぶちまけてっ……あっ……イクっ、イクイクイク……！』

@一華

『んくううう！ んあああああああああああああああああああああああああつっ♪』

@一華

『あああつ……ふああああああああああああああああああああつ……手と……お腹に精液たくさんかけられて……すごく熱い……』

@一華

『はあ、はあ、はあ……精液がねばねばしてとれません……一度家に戻ってシャワー浴びないと、仕事ができない……』

@一華

『うう……大事な仕事場で、裸になって愛液や精液で汚れて……私は誇りある皇学園の理事長なのに……』

@一華

『……旦那様は、私なんかのどこがいいのですか……？ もっと魅力的な女性はたくさんいるじゃないですか……』

@一華

『えっ……抱き締めて……くれるのですか……こんなに、優しく……夫にもされたこと、ないのに……』

@一華

『そんな、頭を撫でながら綺麗だとか……愛を囁くなんて……ひきょう……ひきょうもの、です……』

@一華

『ずっと好きだった……？ あなたと私は、前に会ったことあるのですか……？ ……聞かせてください、お願いします』

## 【パート7】

@一華

『んんんっ……んっ……！ んちゅ、んちゅ、ちゅ、ちゅるっ、ちゅるるっ……！』



@一華

『んちゅ、んちゅ、んちゅふっ、ちゅぶうっ……んんっ、んっ、んんー！！』

@一華

『ふあっ……理事長室にノックも無しに入ってきて、いきなりキスするなんて……！ 失礼でしょう……』

@一華

『……え？ わ、私に会いたかった……？ 顔を見たくて仕方なかった……？』

@一華

『わ、私はあなたに会いたく……なかった……です、そんなこと言われても……嬉しく、ありません……』

@一華

『あなたと昔、同級生だったことも覚えてないですし……ずっと好きだったと言われても、困ります……』

@一華

『あっ……はい……旦那様の言い付け通りの下着をつけています……どうぞ、ご覧ください……』

@一華

『んっ……こんな……穴が空いてる下着……イヤらしすぎます……大事なところが全部見えてます……』

@一華

『ちくびとおまんこ……です……下着のちくびとおまんこの部分に穴が空いていて丸見えになってますっ……』

@一華

『あっ……また優しく抱き締めてくれるのですか……ふあっ……お尻撫でられるとぞくぞくっとなります……』

@一華

『肌がすべすべもちもちで綺麗……？ ああ……うれしい、私をたくさん褒めてくれるのは旦那様だけです……』

@一華

『どうぞ、私の肌の隅々まで……旦那様の手で触ってください……私の感じる場所全部撫でてください……』

@一華

『んっ……はうっ……んんっ……ちくびコリコリ……きもちいい……んっ……ふっ……んんっ……』

@一華

『もっとちくびをグニグニしてっ……摘まんでえ……ひうっ……んんっ……ふあああんっ……』

@一華

『それっ……先っぽを指先でツンツンされるの……気持ちいいっ……びくびくっておっぱいが痺れます……』

@一華

『ふあっ……おまんこもっ……はい濡れてます……ちくびいじられてトロトロの愛液がおまんこから漏れてます……』

@一華

『あっ、あっ、あんっ……ふあ、んはっ……旦那様の指でおまんこクチュクチュされて……愛液でベトベトに……』

@一華

『あっ、はあ、はあっ、ああっ、ああ……ふあ……！ だめっ、やあ……それダメっ……手マン激しすぎるっ……』

@一華

『ふあんっ、あっ、あっ、あっ……ひああっ……クリトリスを摘まんじやいやあ……それ感じすぎます……』

@一華

『ひあっ、ひあああんっ……手マンはげしっ……はあああっ、ひあっ……あっ、あああああんっ ♪』

@一華

『ひいあああああつ！ ひあつ！ イクっ！ イクウっ……イっちゃいます、イクイクイク……！』

@一華

『んひああつ、あはあああああああああああつ……』

@一華

『はあつ、はあつ、はあつ……旦那様にイジられると……身体が勝手に気持ちよく、なっちゃうんです……』

@一華

『すぐにイっちゃってごめんなさい……私だけおまんこヌルヌルにして気持ちよくなって……』

@一華

『旦那様のおちんちんもヌルヌルになって、気持ちよくなってほしいです……おちんちんにおまんこのお相手してほしいです』

@一華

『旦那様にセックスのおねだりさせていただきます……お尻をたくさん振って……メスになります……』

@一華

『はあ、はあ、はあ……メスの本能には逆らえません……お尻フリフリいかがですか……旦那様に誘惑できていますか』

@一華

『ふあ……んはあ、はあ……なんてはしたない、イヤらしい……でもこれ……すごく興奮するう……！』

@一華

『ふああつ……旦那様にお尻とおまんこ見られてるっ……はあ、ふああ……愛液がポタポタって……あふれるう……』

@一華

『お願いします……おちんぼ挿れて……くださいっ……おまんこがおちんぼ欲しくてたまらないんですっ……』

@一華

『わかったんですっ……私は、皇一華はっ……旦那様の女で、妻で……私は、わたしはっ……』

@一華

『ふあああつ、ふあつあああああつ！ おちんぼありがとうございますう、私は、セックス専用のメスなんですうう♪♪』

@一華

『ふあんっ、あつ、あつ、あつ……ひいあつ！ たくましいおちんぼがっ……私のドスケベオマンコにずっぽり入ってるう……！』

@一華

『ひああつ、ひいあつ、あつ、あつ、あつ、ひああつ……はっ、あつ、あつ、あつ、はあああつん♪』

@一華

『旦那様のおちんぼがっ……奥に当たってますっ……ひいあつ、あつ、あつ、あつ、ひあああつ……♪』

@一華

『こんこんって……子宮をノックされちゃってますうう……ああん、ふあ、ひい、ひい、ひいあああああんんっ♪』

@一華

『んんおっ……さらにはげしくっ……おまんこ、ずぼずぼされたらっ……あつ、ああつ、んおお、んおおおおんっ……♪』

@一華

『おまんこおかしくなっちゃう……けだものみたいな声でちゃう……んおっ、おほっ、おほおおおっ♪』

@一華

『んほお、んおあ、おほあああああつ！ イっちゃう、ケダモノおまんこイっちゃいますっ……』

@一華

『んおっ、んおっ、おっ、あつ、あつ、おああんっ！ おちんぼありがとうございます……メスにしてくれてありがとうございます……♪』

@一華

『んおっ、んおっ、んっ、おまんこに出して、中出ししてえ！ 私もイキますからあ、旦那様も一緒にイってえ♪』

@一華

『んおあつ！ んおっ、んおっ、おおんっ……！ イクっ、イクイクイク！ もうイクのお、イっちゃうのおおお♪』

@一華

『旦那様あ……！ だんなさま、旦那様あ……あつ、ああああああああああああつっ！！』

@一華

『イグううう！ んおああああああああああああああああああんっ♪』

@一華

『ひああつんっ……おまんこの中で……精液がビュービューって暴れまわってます……ふああんっ……♪』

@一華

『まだ出てます……あう、あうんっ……私もイクのがとまらないっ……気持ちよすぎて……連続アクメしちゃう……！』

@一華

『ひあつ……ふああああああああああああああつ……出ちやう、お漏らししちゃう……！ 大事な理事長室でっ……』

@一華

『ふあ、ふやにやああああああああああああつ……ふひやああああん……♪』

@一華

『んあ、まだ出るっ……お漏らし……気持ちいい……♪ 理事長室ですのお漏らし、ぞくぞくするう……しびれちゃう……♪』

@一華

『私もう、こんな気持ちいいことやめられない……メスイキしないと生きていけないのお……♪』

@一華

『旦那様とのセックス最高ですう……メスイキたまらないです……ありがとうございますゅう……♪』

@一華

『旦那様好き……大好きっ……愛してます……愛してますう……あはっ、あはああんっ♪』

## 【パート8】

@一華

『ようこそ理事長室へいらっしゃいました……お会いしたかったです、旦那様』

@一華

『こちらへ……ソファでおくつろぎください、今日も旦那様に尽くさせていただきます』

@一華

『旦那様、お身体の上に失礼いたします……私の身体を受け止めてください』

@一華

『ああ、旦那様……♪ あなたを待ちきれなくて、ずっと身体が疼いておりました』

@一華

『早く旦那様のおちんちんで私のおまんこを愛していっぱいにしてほしくて……』

@一華

『たくさんオナニーしました、おまんこくチュクチュして、クリトリスかりかりして、アナルほじほじして……イッてしまいました……♪』

@一華

『カメラで見てくださったんですね……？ 嬉しい……旦那様に見られてると思うとさらに感じてしまいました』

@一華

『全部、旦那様のの言いつけ通りに……イクときはちゃんと旦那様のお名前を呼んでイきましたぁ……♪』

@一華

『旦那様……私に、ご褒美いただけますか……言いつけを守った妻にご褒美ください……』

@一華

『旦那様ぁ……あつ、んっ、ん、んふう、ちゅ、ちゅるっ、ちゅるるっ……』

@一華

『キス、うれしいです……もっと舌でレロレロしてください、口の中をまさぐって……』

@一華

『んんんっ……んっ、んちゅ、ちゅ、ちゅるるっ……旦那様の唾液美味しいですう……ちゅるっ、じゅるるるっ、んちゅ、んちゅう』

@一華

『ご褒美のお礼に……旦那様に、丁寧に心を込めてご奉仕させていただきますね……失礼いたします』

@一華

『ふふっ……旦那様？ 乳首が立ってますよ……男性でも乳首を愛撫されると気持ちいいんですね』

@一華

『お口で失礼します……あーんっ、ちゅ、れろっ、れろっ……ちゅ、れろっ……んん、ちゅ……』

@一華

『ちゅ、れろっ、れろっ……舌で乳首転がすの気持ちいいですかぁ……？ ちゅ、れろっ……んん、ちゅ……』

@一華

『ちゅう、ちゅ、れろッ、ちゅく、れろれろっ……旦那様の乳首こころして可愛い……♪』

@一華

『あっ……ぱんぱんでズボンを突き破りそうなおちんちんが……お腹に当たってます♪』

@一華

『ふふ……そんな顔されてなくてもわかっていますよ、おちんちん気持ちよくしてさしあげますね』

@一華

『ふぁ……おちんちん大きい……すごく熱い……手のひらを火傷してしまいそうです』

@一華

『先っぽが真っ赤になってエラを張ってビクンビクン動いてます、なんて素敵なおちんちん……』

@一華

『では、私の手と、舌で……一緒にご奉仕させていただきますね』

@一華

『あっ……はい、ちゃんと言います、おちんちん手コキ乳首舐めです、なんてはしたない♪』

@一華

『ちゅ、ちゅっ。ちゅぱっ、ちゅっ、ちゅぱっ、ちゅちゅっ……しこしこ、ごしごし……♪』

@一華

『乳首をナメナメしながらチンポをシコシコするの気持ちよさそう……』

@一華

『ちゅ、ちゅ……はぁ、は……ちゅ、ちゅぱっ、んふっ、れろっ……しこしこ、ごしごし……♪』

@一華

『ああ……すごい……おちんちんが手の中でどんどん大きくなっていきます、お汁もあふれてます』

@一華

『次はパイズリフェラですね、わかりました……私の巨乳おっぱいで気持ちよくしてあげますね』

@一華

『旦那様のおちんちんをおっぱいで挟みましたぁ……ああ、私の大きな胸でも納まりきらないおちんちんすごい……』

@一華

『亀頭がおっぱいの間から顔を覗かせてます……可愛い♪ ちゅ、ちゅっ、ちゅ、ちゅっ……』

@一華

『れろお、れろっ、れろろっ……亀頭ペロペロするの好きです……キャンディーみたいで……ペロペロっ……』

@一華

『おっぱいピストンしながら亀頭舐めますね……れろろっ、ぺろっ、ちゅるっ、ちゅっ、ちゅぱっ、ちゅぱっ』

@一華

『あむ、んちゅ、んちゅう、んちゅふっ、ちゅぶうっ、ちゅるるっ、ちゅぶうっ、ちゅるるっ……』

@一華

『んっっ！？ んぶうっ……乳首、摘まんじやいやぁ……感じすぎちゃうからっ……！』

@一華

『んちゅ、んちゅう、んちゅふっ、ちゅぶうっ……んんんっ、んっ、んんー！！』

@一華

『ちゅぶうっ、ちゅるるっ、ちゅぶうっ、ちゅるるっ、んんうっ、んうんっ、ングうーっ！！』

@一華

『んんぶう、んぐううう、んぶううううううううううううううっっっ！！』

@一華

『んぐっ、んぐっ……んっ、んっ……んっ……ごくっ、ごくっ、ごくんっ……』

@一華

『んふー、んふー……ん……んふー……ふはっ、はぁ、はぁ……精液が溢れてきて……飲み切れません……』

@一華

『旦那様にご奉仕していたのに……乳首を摘ままれただけでイっちゃいました、ごめんなさい……』

@一華

『旦那様の精液もたくさんこぼしてしまって……不出来な妻でごめんなさい……はい、お仕置きですね』

@一華

『お尻を向けました……どうぞ、お仕置きをお願いいたします、おまんこも払げて準備完了ですう……』

@一華

『おまんこから愛液が溢れて止まらないんです……皇一華の清く正しく美しいおまんこに、旦那様のお情けをください』

@一華

『お願いします……乳首弄られただけですぐイっちゃうよわよわ理事長のおまんこにおちんちんぶちこんでください♪』

@一華

『あぁっ……なんて屈辱的ではしたない言葉……いやなのにつ……いやなはずなのにつ……うれしくてたまらないい♪』

@一華

『あっ……あああぁあっ……奥までっ……届いてるう……深いいい、子宮こつんこつんされてるう……』

@一華

『あうううんっ……あああぁあっ……だめっ……イク……すぐにイっちゃう……』

@一華

『んあああああぁあぁあっ……挿れられて少し突かされただけで……イっちゃうよわよわおまんこなのぉ♪』

@一華

『あっ、あぁっ、んおお、んおおおお……んおおあぁあっ……イッてるおまんこに容赦のない杭打ちピストン……！』

@一華

『おまんこの一番奥を執拗に責める旦那様の腰つき……たまらないですっ……んほお、んんほお、んほおおおんっ』

@一華

『誰かの中途半端なセックスとは、全然違いますっ……これこそ本当のセックス……けだもの同士のセックスですう……』

@一華

『んおっ、おほっ、おほおおおっ♪ しゅごっ、しゅごいのおおおお、んおおおおおおっ♪』

@一華

『奥をずんずんされるの好き、おちんぼで子宮を征服されるのしゅき、ぐっちょぐちょにされるう♪』

@一華

『んおっ、んおっ、んおっ、おっ、おほおお～……♪ 子宮口つぶれりゅう、んおおお～……♪』

@一華

『んおっ、んおっ、おっ、あっ、あっ……おぁあっ、犬みたいにつ……後ろかけだものみたいに乱暴に突かれるの好き♪』

@一華

『けだもの種付けセックス興奮するっ……♪ メスの幸せを感じるのおっ♪』

@一華

『んおっ、ほおっ、ほっ、ほぁあっ、おまっ、おまんこ抉られてりゅう♪』

@一華

『けだものみたいな声がとまらないっ……！ んおっ、んおっ、んおっ、おっ、おほおお～♪ おんあああああああぁあぁあっ♪』

@一華

『あぁっ旦那様ぁ、旦那様ぁ♪ 次は種付けプレスお願いします、私、種付けプレスされるの大好きです、大好きです♪』

@一華

『さぁ旦那様、ここです、おちんちんはここです♪ 全体重をかけてぶちこんでください、はやく、はやく♪』

@一華

『んおぉおうつ……おちんちんがぁ……ずぶずぶずぶってきたぁ、ドリルみたいにiiiiい♪』

@一華

『おまんこにぐっちゃり刺さってるぅ、おちんちんでおまんこ掘られちゃってるぅ♪』

@一華

『んほおおおおおお♪ おちんぽ気持ちいい、気持ちいいのおおおお♪』

@一華

『はぁ、はぁっ、んちゅっ、ちゅう、ちゅぶっ……おちんぽで掘られながらのキス好き……♪』

@一華

『んっ！ んっ！ んちゅうっ！ んう、んふうっ！ んっ、んんっ、ンぶううっ、んちゅ、ちゅっ、ちゅっ！』

@一華

『んーっ、んんっ、ンぶううっ、んちゅ、ちゅっ、ちゅっ！ んっ！ んちゅうっ！』

@一華

『旦那様、舌を出してください……ふぁ、れろっ、ふえろっ、ちゅ、ちゅるるっ、れろお、ちゅぱっ』

@一華

『ふぁぁ旦那様ぁ……ベロフェラ気持ちいいですか？ おちんぽが中でビクンビクンって膨らんですぅ』

@一華

『ちゅぱっ、ちゅ、ちゅっ、れろお、れろお、れろお……ちゅるっ、んぶううっ』

@一華

『んんん、んふうう！ もう……イクっ……イっちゃいますっ……んふっ、んぶぶうっ、んちゅ、ちゅ、んちゅうっ』

@一華

『んふっ、んふうっ、いくっ、イクう、あああぁっ……種付けお願いしますう……』

@一華

『子宮に、いっぱい……精液注いでくださいっ、旦那様の強い子種で受精させてっ……』

@一華

『あっ、あああっ♪ あっ、おちんぽ深いっ、もう少し、もう少しです旦那様ぁ！』

@一華

『んあああっ、あああっ！ ふああっ、ああああああああっ、もうダメっもうダメっ、旦那様も一緒に！』

@一華

『イクッ、イクイクっ、イクうううううううううううううううっ♪』

@一華

『ああああああああああああああああああああああっ、おまんこに精液いっぱいあぁあいつ……！』

@一華

『ふあああんっ、まだっ……いっぱい出てるっ……あぁ……精液あつい……』

@一華

『旦那様からいただいた精液……おまんこで全部飲み干します……はぁ……はぁっ……』

@一華

『はい、しっかり孕みます……唯那に妹を作ってあげようと思います、皇家は女系ですから♪』

@一華

『旦那様との愛の結晶……私のお腹で、しっかりお育てしますから……でも今は……』

@一華

『私だけを、愛してください……旦那様♪ ほらいつものように……』

@一華

『はい、これでおまんこ見えますか旦那様、私の精液まみれのおまんこです……』

@一華

『私の顔、おっぱい、おまんこもぜんぶっ……隅から隅まで……撮影してくださいっ……』

@一華

『ふぁっ……んっ、んっ、しっかり撮れてますか？ 撮られるだけで感じちゃいそうです』

@一華

『旦那様と私だけの……受精記念です……きちんと残しておきましょう……』

@一華

『皇一華は、旦那様の妻であり、一生隷属することを約束し、ここに宣言します……』

@一華

『もう後戻りはいたしません……この学園もすべて……旦那様のものです、すべて捧げます……』

@一華

『気に入った生徒がおりましたら、おっしゃってくださいね、いつでも手配いたしますから』

@一華

『もちろん娘も……唯那も可愛がってあげてください。……え、三人でセックスですか……？』

@一華

『あぁ……ふぁんっ……旦那様と唯那と、3Pセックスを想像しただけで……おまんこが濡れてきましたぁ……』

@一華

『旦那様ぁ、セックスしてください、お仕置き、してください……♪』